

今後の予定

1 行政検討会（遺伝毒性評価ワーキンググループ）

（1）第2回（平成27年4月27日）

平成28年度に実施する形質転換試験及び変異原性試験の実施物質の選定

2 委託事業等

（1）遺伝毒性試験（エームス試験試験）の実施（～平成28年度末）

- これまでの委託事業で構造活性相関を行い「+」と判定された物質、又は遺伝毒性評価WGにおいて「エームス試験なし」若しくは「判定不能」とされた物質について、遺伝毒性評価ワーキンググループで選定を行い、試薬の購入が可能な約40物質について試験を実施予定。

（2）非遺伝毒性発がんスクリーニング試験（Bhas42細胞形質転換試験）の実施（～平成28年度末）

- 16物質について試験を実施予定。
- ガス状物質や揮発性液体については、ガスばく露法による試験を実施。

（3）遺伝毒性情報等の収集・整理（～平成28年度末）

- 変異原性に関する詳細情報（30物質程度）（分類及び試験結果の根拠となった動物試験等に関する原文献等）を収集すること。

（4）遺伝毒性に関する構造活性相関の計算（～平成28年度末）

- これまでの委託事業で情報収集した結果、発がん性及び遺伝毒性情報のどちらもない物質について計算予定。